

東京工業大学広報センター長
大 谷 清

東京工業大学社会人教育院

「大手町エグゼクティブセミナー」を開講

－「ポスト 3.11 の未来設計」前提崩壊下の戦略シフトへの挑戦－

今日の日本企業を取り巻く経営環境は急激に変化しており、その変化を正しく理解し、対応していくことが経営陣には求められます。このたび、東京工業大学の力を結集し、現在、直面する環境エネルギー問題に対して企業がいかに戦略的に挑戦するか、について議論する経営幹部向けセミナーを開講いたします。本セミナーは、経営および産業、金融への重要性において問題意識を共有し、「まちづくりを通じた社会への貢献」を経営理念とする三菱地所と、日本トップの理工系総合大学である東工大との共催で実施します。

記

開講時期	2013 年 6 月 14 日～11 月 22 日 第 2 および第 4 金曜日（8 月中は 30 日のみ） 18 時 45 分～21 時 15 分
場 所	大手町フィナンシャルシティ サウスタワー 5 F 東京金融ビレッジ （〒100-0004 東京都千代田区大手町 1 丁目 9-7）
主 催	東京工業大学社会人教育院・三菱地所株式会社
定 員	30 名（最少開催人数 10 名）
受 講 料	55 万円
申込期間	2013 年 4 月 1 日（月）～5 月 24 日（金）（予定）
修了証書	一定の要件を満たす修了者には、学長よりプログラム修了証が授与されます

【開講スケジュール】（毎回 18 時 45 分開講、21 時 15 分終了）

日 時	テーマ	講 師
第 1 回 (6/14)	元素戦略と世界	三島良直（東工大学長） 池上 彰（東工大教授）
第 2 回 (6/28)	原子力問題と今後の展望	有富正憲（東工大名誉教授）
第 3 回 (7/12)	地球環境問題のインパクト	吉田尚弘（東工大教授）
第 4 回 (7/26)	太陽電池の本当の可能性	小長井誠（東工大教授）
第 5 回 (8/30)	エネルギー技術の新地平	波多野睦子（東工大教授）
第 6 回 (9/13)	資源制約下の持続的成長戦略	蟹江憲史（東工大准教授）
第 7 回 (9/27)	エネルギー問題を巡る政治	谷口直子（東工大准教授）
第 8 回 (10/11)	IT の技術革新と経営革新	辻村清行（東工大非常勤講師/ ドコモエンジニアリング社長）
第 9 回 (10/25)	IT の活用とプロセス志向	飯島淳一（東工大教授）
第 10 回 (11/8)	環境エネルギーの戦略投資	井上光太郎（東工大教授）
第 11 回 (11/22)	日本の企業・国家戦略	妹尾 大（東工大准教授） 池上 彰（東工大教授）

さらに、毎回テーマに沿ったビジネスリーダーの方を講師にお呼びします。

※都合により講師及び各テーマに一部追加・変更が生じる場合もあります。予めご了承ください。

【講義概要】

第1回 イントロダクションとして、福島原発事故、先進諸国の景気低迷と財政問題、日中関係の悪化など、従来の企業経営の前提が大きく変化したことを踏まえ、このセミナーで講師と参加者が何を議論するかを紹介しします。その上で、これからの新材料開発の方向性と、それが産業に与えるインパクトを、材料分野の権威である三島良直東工大大学長と池上彰教授が議論しします。

第2回～第5回

日本経済の最大の問題と言っても過言ではない環境・エネルギー問題を、東工大・環境エネルギー協創教育院の各分野の専門家と、実務家のキーパーソンが議論しします。原発依存か、反原発かという二者択一の議論ではなく、関連テクノロジーの長期的な発展の可能性を踏まえ、日本が採るべき選択肢を検討しします。

第6回 国民的合意を得るための、日本の持続的成長戦略の構築について議論を展開しします。

第7回 国民的合意を形成するための政治の役割を、気鋭の政治学者と政治家が議論しします。

第8回・第9回

ビッグデータの活用問題、ビジネスプロセスの変革、ITベースのイノベーションなど、持続的成長の実現と新たな産業育成の鍵となるITとその管理方法について議論しします。

第10回・第11回

これまでの議論を踏まえ、日本企業や政府がどのように戦略を立案するか、どこに経営資源を配分するのか、資本を投下するのかについて、池上彰教授のリードにより、議論しします。

●どのような方を対象としているか？

- エネルギー問題が経営に大きな影響を持つ企業の経営者・戦略担当幹部の方
- 燃料や資源の調達・投資を本業とするエネルギー企業、商社の事業部幹部の方
- 情報通信ビジネスの新たな可能性を模索する情報関連企業の戦略幹部の方
- 環境エネルギービジネスへの出資・投資・融資の担当幹部の方

●セミナーのフォーカス

- 原子力、代替エネルギーの選択が、企業戦略にどのようなインパクトを持つか？
- どのような新技術が、環境・エネルギー問題を考える上でカギになるのか？
- 様々な資源の制約下で、情報通信技術の役割は何か？
- 企業の経営戦略、投資戦略はどのように変わるのか？

●セミナーの特長

毎回、東工大の教授陣とビジネスリーダーがテーマに関する問題提起を行い、その後、コース参加者の質問や提案をベースに、教授陣・ビジネスリーダーと受講者とが協創的に議論を展開しします。実際のビジネスの課題を持つ受講者の質問に対し、空想や想像ではなく、現在の技術と今後のイノベーションを踏まえた議論が期待されます。

各回の議論の示唆から、講師と受講者が共に日本の企業・国家戦略のビジョンステートメントをまとめ、議論を具体的な形にして、マスメディアを通じて社会に提示しします。また各分野の専門家、その分野の先行者となっている企業の経営者、同じ意識を持つ他社の幹部社員と、セミナー内の討論や懇親会を通じてハイレベルのネットワーキングが可能です。

【講演者紹介】

三島良直 東京工業大学学長

1973年東京工業大学工学部金属工学科卒、1979年8月カリフォルニア州立大学バークレー校(UCB)博士課程修了、1981年5月東京工業大学精密工学研究所助手、1989年同助教授、1997年11月東京工業大学大学院総合理工学研究科教授。この間、東京工業大学教育研究評議員(2005)、同大学院総合理工学研究科長(2006-2009)、同理事・副学長(2011.10)、2012年10月より現職。



飯島淳一 社会人教育院 GINDLE 大手町エグゼクティブセミナーコース長

1982年東京工業大学大学院総合理工学研究科システム科学専攻博士課程(単位取得退学)、同研究科助手、工学部助手、工学部助教授を経て、1996年より同大学院社会理工学研究科経営工学専攻教授、現在に至る。2011年~2012年同研究科長。工学博士(東京工業大学、1983年)。日本BPM協会副会長、経営情報学会元会長。専門は、システム理論、情報システム学、企業工学。



波多野睦子 環境エネルギー協創教育院院長

慶應義塾大学電気工学科卒業後、27年間(株)日立製作所中央研究所に勤務。その間1991年に工学博士を取得、1997年から3年間カリフォルニア州立大学バークレー校(UCB)客員研究員。2010年7月より東京工業大学大学院理工学研究科電子物理工学専攻教授。2011年12月より文部科学省「博士課程教育リーディングプログラム」環境エネルギー協創教育院院長を兼任。日本学術会議連携会員、応用物理学会フェロー、専門は電子デバイス、応用物理。



池上 彰 リベラルアーツセンター教授

1950年、長野県生まれ。1973年、NHKに記者として入局。松江、呉での勤務を経て、東京の報道局社会部。事件、事故、災害、消費者問題、教育問題等を取材。5年間の首都圏ニュースキャスターを経て、1994年から2005年まで「週刊こどもニュース」キャスター。2012年より東京工業大学リベラルアーツセンター教授。おもな著書に「そうだったのか! 現代史」(集英社)、「伝える力」(PHP研究所)、「学び続ける力」(講談社)ほか。



申込みおよびセミナーに関するお問い合わせ先

〒152-8550 東京都目黒区大岡山 2-12-1 W9-119

東京工業大学 大学院社会理工学研究科 GINDLE(大手町エグゼクティブセミナー)

担当: 目須田 電話 03-5734-2489 E-mail: syariko@jim.titech.ac.jp

URL <http://www.dst.titech.ac.jp/project/gindle.html>